

# 西川地区集落活動センター 1年の歩み

「豊かで安心・安全な暮らしができるための様々な仕組みづくりをしていこう」

香我美町西川地区の旧西川小学校跡地を活用し、昨年4月12日、西川地区集落活動センターが発足されました。

同センターは、地区住民40人（平成26年4月現在）で組織され、「夢の郷にここに西川笑楽幸」を合言葉に、活動が行われています。内容に応じて3つの部会（夢部会、集う部会、支え合う部会）を組織し、それぞれが活動計画をたて取組を進めてきました。

この、地域づくりの拠点となる同センターの1年間の活動を紹介します。



地域支援課 ☎57-8503



**集う部会**

毎月第2日曜を活動日にし、西川地区内外の交流が幅広く行われるよう秋葉山のウォーキング道や花公園の整備を行ってきました。

また、念願であった花公園のあずま屋トイレ、展望台の建設もされ、3月の花祭りでは、多くの来場者でにぎわいました。

**支え合う部会**

昨年6月、西川地区の60歳以上の住民の方に暮らしに関するアンケート調査を実施し、その結果をもとに月1回開催を計画しているサロン活動や見守り活動に活かしてきました。

サロン活動では、西川地区の高齢者などが中心に参加し、そば打ち体験、こんにやくづくり、室内でのペタンク・卓球などを行い、楽しい一日が過ごせるようになってきました。今後とも生きがいにつながるようなサロン活動をめざして取り組んでいきたいと考えています。

**夢部会**

休耕田や耕作放棄地の解消をめざし、開墾を行いました。開墾された土地には、じゃがいもや大根、たまねぎなどを植え、収穫後は、市内の学校給食センターなどに納品しました。

また、西川地区の特産品であるみかん、生姜を活用した商品の開発として、ジャムづくりに取り組んでいます。



## 高齢介護だより



自分らしく生きるために  
エンディング  
ノートのおすすめ

人は老いていくと、自分の将来についてはあまり考えたくないものです。しかし、確実にやってくる終末期。今までの人生とこれからの人生をそれぞれの立場で考え記すことで、今を輝いて生きるためのヒントを見つけ出せるのではないのでしょうか。

エンディングノートは、現在も未来も、より自分らしく安心して生き、自分らしく最期を迎えられるように作る覚書です。葬儀の方法や供養の方法、延命医療の意思表示など、自分自身の将来に関することから、知人や友人、そして家族に送るメッセージなど、様々なことを記し、残すことができます。

高齢者介護課では、エンディングノートについての相談やお問い合わせをお受けしています。エンディングノートのご紹介など個別の相談はもちろんのこと、地域の集まりなどへ出向きお話しすることもできますので、お気軽にお問い合わせください。



エンディング  
ノートって  
どんなこと書くの？

## 脳健康教室

募集！『脳健康教室』へ参加しませんか？

- 読み書きと簡単な計算の教材を使って、脳を活性化させる認知症予防教室を開催します。週一回の教室と自宅学習を行います。楽しく脳の体操をしてみましょう。
- 期間／6月26日～12月18日 毎週木曜日の午前中
- 対象／65歳以上の香南市民で、週1回の教室への参加と毎日10分程度の自宅学習が可能なこと。
- 定員／20人程度
- 参加費／1,000円(教材費)×6カ月
- 締切り／5月30日(金)

募集！『脳健康教室』サポーターを募集します！

- 脳健康教室へ参加する学習者へ助言や教室運営支援をしていただきます。
- 期間／6月26日～12月18日 毎週木曜日の午前中
- 対象／おおむね70歳までの香南市民で事前の研修会(6月19日)に参加できる人。
- 謝礼／1日 1,000円
- 締切り／5月30日(金)

## 参加してみませんか？ 介護予防事業 いきいきクラブ

いきいきクラブは、地域の公民館や集会所に集まり、身近で馴染みのある道具を使って介護予防事業を行っています。

編み物や折り紙、スケッチなどは頭の体操になります。どれも集中力と思考力が必要です。また、昔を思い出し、会話が弾み自然と笑顔を引き出します。

特別な道具がなくても介護予防はできます。いつまでもいきいきと暮らすために、身近な介護予防から取り組みましょう。



▲北地さんさんグループの雑祭り